

Innovation Idea Contest (IIC) 2026 募集要項

目次

0. はじめに～背景：IIC開催と大学への期待	p.2
1. Vision and Concept	p.3
2. 検討テーマ領域について	p.4
3. 募集・選考	p.5
4. 採択後の研究開発推進	p.13

問い合わせ先
医療イノベーション機構パートナー戦略室
イノベーションアイデアコンテスト（IIC）事務局
松浦・新・川上 openinnovation.tlo@tmd.ac.jp 03-5803-4736

0.はじめに～背景：IICの開催と大学への期待

■ 医療分野の技術進展

AI やビッグデータ、ロボットなどDeeptech領域の技術の活用が医療・ヘルスケア分野、ライフサイエンス分野で急速に進んでいる

■ 科学技術・イノベーションに関する政策動向

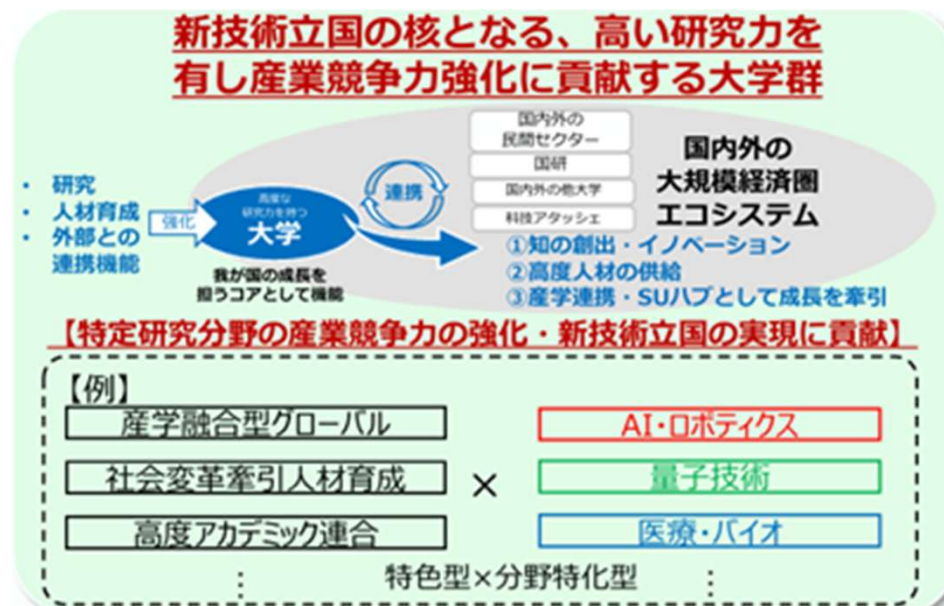
日本の研究力強化や科学技術を国力の源泉にするため、大学・国研への抜本的投資の拡充、世界をリードする研究成果創出が求められている

■ 産学連携の推進・世界で競い成長する大学の実現

世界トップレベルの研究拠点や産学官共創拠点等の形成を進め、大学の研究力と経営力強化が期待されている

■ 大学の研究成果の社会実装促進

大学の研究シーズの可視化と社会課題や産業ニーズへの結び付け、産学連携やスタートアップ創出のような社会実装の促進が求められている



図：26.4.16 経産省 新技術立国の実現に向けて資料より抜粋

新技術立国実現に向けて、国の成長ドライバーとして大学の研究成果の社会実装について期待が高まっている。

1. イノベーションアイデアコンテスト

Vision and Concept

Vision

国際卓越研究大学である東京科学大学の先進的な研究知を活かしライフサイエンス分野の未踏領域のテーマ創出や社会課題、地球規模の課題解決に貢献する世界に通じる革新的なアイデアの創出と創出されたアイデアの社会実装を目指す

Concept

■ 創薬

東京科学大学が有する医歯理工融合の研究知、AI・医療データ、先端計測、材料・デバイス、バイオエンジニアリング等の先進技術を活かし、既存の創薬アプローチでは到達困難な未踏領域のアイデアを創出

■ 医療機器

AI・医療データの活用、医工連携の独創性（工学：材料、・ロボティクス・情報・電子等と医学・歯学・看護の知が交差する本学ならではの組み合わせ）、未踏領域への挑戦

■ ヘルスケア

都市×テクノロジー×衣食住を融合し、街全体で健康を支えるスマートウェルネスシティー

2. 検討テーマ領域について

30年後の未来を想像したときに求められる創薬、医療機器、ヘルスケアのテーマとは！？

◆創薬の検討テーマ

例えば、AI・医療データ・オミクスを活用した予防・先制医療型創薬、老化・再生・免疫・代謝・神経を横断的に制御するウェルビーイング拡張創薬、口腔・腸・免疫・脳などの全身ネットワークを再設計するシステム創薬、合成生物学による生体プログラミング、宇宙・極限環境に対応するレジリエンス創薬、研究・臨床開発を変革する自律型AIエージェント

◆医療機器検討テーマ

例えばAI・医療データ駆動の次世代診断・治療デバイス、健康寿命を延ばす常時センシング・予防デバイス、口腔・感覚器から全身を診る医工連携デバイス、脳・こころに寄り添うニューロテック／BMIデバイス、拠点や環境の制約を越える医療デバイス（地域格差・災害・極限環境）

◆ヘルスケア検討テーマ

例えばオフィス・商業施設などで個人の健康データをセンシングするセンサー、個人の健康データをリアルタイムで可視化するアプリ、五感を維持・拡張できるサービス、健康データや栄養知見などによりパーソナライズされた食・栄養補給サービス

…etc

これに限らず社会変革やVI（＊）に沿ったテーマなど広く募集します

＊VI（Vision initiative）： Total Health Design、Well-Vitality、Future Intelligence、Resilience-Tech Society、Space Innovation、Innovative-Life Society など

3. 募集・選考

3-1. 開催内容

- ・ 国際展開に繋がるライフサイエンス分野の未踏領域のテーマや社会課題の解決を目指した起業・事業化・産学連携に繋がる研究アイデアを発掘する学内コンテスト

書面スライド2枚で応募出来る

募集プラン

ライフサイエンス分野で、将来の起業や産学連携のシーズとなり得る社会実装を意識したアイデア

参加資格

東京科学大学に所属する教員・学生（個人・チームは不問）
※学生が応募する場合は、メンターとなる教員を指名

支援内容

約6月間のメンタリング＋セミナーを中心としたインキュベーションと最終報告会
2次審査で優秀賞150万円、準優秀賞50万円、副賞30万円を決定
その他協賛企業より副賞を計画中
最終報告会で最優秀賞決定（受賞者ヘインペリアルカレッジピッチ出場権＋渡航費を計画中）
その他スポンサー企業と連携した副賞を検討中

審査方法

一次審査：書面審査による第1次審査、10-15人採択
二次審査：一次審査からメンタリングでブラッシュアップした提案内容を
ピッチ審査により優秀賞や準優秀賞など決定、6名採択
最終報告会：ピッチ審査により最優秀賞決定

3-2. スケジュール

公募説明会(ハイブリッド)

7月13日 (月) 18時～19時15分 ハイブリッド

エントリー期間

7月15日 (水) ～8月16日 (日) 24時00分

1次審査結果発表

9月1日PM

MEETUP (実地)

9月7日 18時～@ヘルステックデザインラボ

メンタリング期間

9月～10月12日(月)

ピッチ審査会

10月13日(火) 13時～@ヘルステックデザインラボ

最終審査結果発表

10月中旬

研究費執行期間

10月末 (予定) ～2027年3月末

3-3. 研究開発費の考え方

- 本事業の対象となる経費は、採択を受けた研究プロジェクトを推進するために必要な研究開発費です。
- 研究開発費は、研究開発に関わるもののみを対象とします。
- 経費の取扱いについては、東京科学大学の規程に従って適切に管理・執行してください
- チームでの応募の場合、応募代表者が所属する分野に配分します
- 学生の採択者は、メンターとなる研究者が所属する研究室に配分します（※学生の採択者でメンターが不明な場合は、アイデア試行に伴走可能な分野の探索を事務局がサポートいたします）

3-4. 応募方法

公募説明会（ハイブリッド）

7月13日（月） 18時～19時

必要に応じて、代表者または共同提案者が出席してください

エントリーシート作成

エントリーシートはこちらから取得してください

エントリーフォームへのアップロード

締切 8月16日（日）24時00分

上記で作成したエントリーシートをフォーム内に提出してください

提出先のエントリーフォームはこちら

<記入に関する注意>

- 審査員は、専門領域“外”の方です。専門分野に詳しくない方でも理解できるよう、出来るだけ簡潔にご記入頂くようご配慮ください。
- 応募書類ならびに動画には未発表の重要な情報（特に特許取得または論文発表に必要なもの）は記載しないでください
- 知財の可能性がある場合は（既に試作品を作り始めている場合等）、エントリー前に事務局に相談してください
- 提案内容は、提案者または共同提案者独自のものに限り、他者のアイデア等の流用ではないことを確認してください
- 提案内容とコンフリクトが生じる基金や助成、ファンド、団体、企業ほかに提出されていないものに限りです
- 本試行支援費を用いて行う研究や検証は学内で実施してください
- 提案内容により、倫理委員会をはじめとする各種委員会への申請・届出を依頼することがあります
- 企業と共同研究を開始しているものは対象外とします

3-5. 審査方法

一次審査

審査員：起業サポーター
審査数：エントリー案件全て
審査方法：書面を見て点数評価

起業サポーター
によるブラッシュアップ
①パッション
②社会的インパクト
③新規性や先進性
④市場性・ビジネスモデル
⑤国際展開に繋がる

二次審査

審査員：学内・学外有識者
審査数：10-15件×10分
審査方法：ピッチを見て審査基準に基づく点数評価し～6件採択
優秀賞1名(150万円)、準優秀賞2名(50万円)、副賞3名(30万円)

最終報告会

審査員：学内・学外有識者
審査方法：ピッチ審査により最優秀賞決定
最優秀賞受賞者には本学の関連大学インペリアルカレッジロンドンのピッチ出場＋渡航費を計画中

3-6. 評価の観点

本募集の審査にあたっては、提案に対する評価の観点を以下のとおりとします。

一次審査

審査員：起業サポーター
下記評価項目

二次審査

審査員：学内外有識者
一次審査項目＋下記評価項目

点数 評価軸	1 (低い)	2 (低くはないが)	5 (高い)	7 (極めて高い)
捉えている課題および解決策の斬新さ (新規性)	課題も解決策もどこかで聞いたことがある	課題ないし解決策のどちらかは新しいが、片方がありふれている	課題も解決策も新しい	課題も解決策も新しく、極めて斬新である
社会へのインパクト (取り組む意義)	社会への影響はほとんどない	社会への影響は少しはある	社会への影響がかなりある	社会への影響が極めて大きい
自分の思いの強さ (パッション)	他人がやってくれることを期待している	自分で実施しようとは思っている	かなり強く自分で実施しようとする意志が感じられる	原体験があるなど、自ら実施する強い意志が感じられる

点数 /評価軸	1 (低い)	2 (低くはないが)	5 (高い)	7 (極めて高い)
科学大学らしさ	課題解決策もTMDUらしさ全く無し	課題解決策もTMDUらしさ僅かに有り	課題解決策もTMDUらしさ有り	課題解決策もTMDUらしさかなり有り
技術の先進性	技術の先進性無し	技術の先進性少し有り	技術の先進性かなり高い	技術の先進性極めて高い
市場・ビジネスモデル	市場性小さいビジネスモデル確度低い	市場性少し有りビジネスモデル確度少し有り	市場性大きいビジネスモデル確度高い	市場性極めて大きいビジネスモデル確度極めて高い
国際展開に繋がる	国際展開に全く繋がらない	国際展開に少し繋がる	国際展開に繋がる	国際展開に極めて高い確度で繋がる

3-7. 利益相反マネジメントの実施

IICの中で公正で透明な評価及び研究資金配分を行う観点から、以下の利益相反マネジメントを実施します。

選考に関わる者の利益相反マネジメントとして、公正で透明な評価を行う観点から、申請者等に関して下記に示す利害関係を有する者は選考に加わりません。もし、選考に関わる者について懸念点等ある場合は、申請書に具体的に記載してください。

- 申請者等と親族関係にある者。
- 申請者等と同一の学科、専攻等に所属している者。
- 申請者等と緊密な共同研究を行う者。(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいは提案者の研究課題の中での共同研究者等をいい、提案者と実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者)
- 申請者等と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者。
- 申請者等の研究課題と学術的な競争関係にある者又は市場において競争関係にある企業に所属している者。
- その他プログラム事務局が利害関係者と判断した者

4. 採択後の研究開発推進

4. 採択後の研究開発推進と留意事項、情報管理について

- 採択課題の実施において、tipシェアラボ利用について優遇させていただきます。
 - 産学連携促進等の目的で開催するイベントで登壇をお願いすることがあります。
 - 研究開発費の執行については、研究費が税金で賄われていることを十分に認識し、公正かつ効率的に執行してください。
 - ・ 公募要領等の要件及び本学の規程を遵守してください。
 - ・ 研究開発費は税金で賄われていることを理解の上、研究開発活動における不正行為（捏造、改ざん及び盗用）、研究費の不正な使用などを行わないでください。
 - 課題の進捗等に関する報告、各種調査への対応、その他事業を円滑に実施するうえでの対応をお願いする場合があります。
 - 本要項に記載がない事項は、原則として本学の規程に従います。
- 【提案内容の管理】
- 提案内容は、IICの審査員、本学の産学連携関連委員会ⁱ⁾の委員ならびに外部評価者ⁱⁱ⁾にのみに開示し、その他の学内/学外の第三者には提案者の事前の同意がない限り開示しません。
 - i)医療イノベーション機構における会議 等 ii)本件に係る秘密保持誓約書を提出した本学連携先の企業
 - 提案内容を開示された者は、情報を他者に一切伝えない。また、提案者の許可を得ず、情報を他の目的に利用しません。
 - 提案内容は提案者に帰属し、本学ならびに提案を開示された者に帰属しません。
- ＜ 申請者が学生の場合 ＞
- IICに採択され、採択されたアイデアを起点に企業と共同研究等を実施する場合は、メンターとなる教職員と共同で実施してください。
 - 本研究開発費に基づき企業と共同研究等を実施する場合は、「学生の共同研究への参加に関する誓約書」を提出いただく必要があります。詳細につきましては、IIC事務局までお問い合わせください。